

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(2) 提出会社の経営指標等

--

2【沿革】

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(1) 業績

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安基調の継続や原燃料コスト安などもあり企業業績は堅調に推移し、上半期は緩やかな回復基調となりました。しかし、下半期は、中国や新興国等の経済の低迷や円高の進行もあり、弱含みで推移しました。

こうした経済環境のもと、我が国の鉄鋼業界におきましては国内需要及び輸出が低迷した結果、当年度の粗鋼生産量は前年度比5.2%減の1億418万トンとなりました。

3【対処すべき課題】

今後の需要環境は、海外では、これまで成長セクターであった中国他新興国の成長鈍化や原油市況の低迷、国内では、少子高齢化に伴う需要減や為替の変動などにより、不透明な状況が続くものと考えております。

こうした環境の中、当社グループでは2016～2020年度グループ中期経営計画「CHANGE（Challenge And Generate）20」を策定いたしました。当社グループは、強靱な事業体質と安定した収益体質の構築に向け、企業体質を変革させてまいります。既存事業の更なる強化と将来の成長戦略展開の為、「挑戦」と「創造」に邁進いたします。

また、当社グループの行動規範である「社会と共生し、信頼される企業グループを目指す」を念頭に置き、安全活

7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態

E01240)

第3【設備の状況】

E01240)

第4【提出会社の状況】**1【株式等の状況】****(1)【株式の総数等】****【株式の総数】**

(7) 【大株主の状況】

2【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 会社法第155条第7号に該当する普通株式の取得

(1)【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(2)【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(3)【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

区分	株式数(株)	価額の総額(円)
当事業年度における取得自己株式	10,405	

3 【配当政策】

コンプライアンス体制

企業活動における法令・倫理遵守体制を維持・強化するため、取締役会の独立諮問機関としてコンプライアンス委員会を設置し、6ヶ月に1回以上会議を開催しております。委員会は当社の役職員の他、グループ各社からも委員が参加し、当社グループとしてコンプライアンス体制の強化を図っております。その他、リスクの顕在

- 3) 保有目的が純投資目的である投資株式
該当事項はありません。

取締役の定数

当社の取締役は18名以内とする旨定款に定めております。

取締役の選任の決議要件

当社は、取締役の選任決議について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う旨定款に定めております。

また、取締役の選任決議は、累積投票によらないものとする旨定款に定めております。

株主総会決議事項を取締役会で決議することができる事項およびその理由

当社は、以下について株主総会の決議にはよらず、取締役会で決議することができる旨定款に定めております。

1) 自己の株式の取得

経済情勢の変化に対応して機動的な資本政策を遂行するためであります。

2) 中間配当

機動的な配当政策を可能とするためであります。

E01240)

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【連結貸借対照表】



The table area contains 9 horizontal light blue bars, indicating that the content has been redacted.

【連結損益計算書及び連結包括利益計算書】

【連結損益計算書】

【連結包括利益計算書】

【注記事項】

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

- | | |
|------------|--|
| (1)連結子会社の数 | 5社 |
| 連結子会社名 | : 高周波鑄造(株)、高周波精密(株)、(株)東北コアセンター、(株)カムス、
エヌケイ精工(株) |
| (2)非連結子会社 | 1社 |
| 非連結子会社 | |

(ハ) 役員退職慰労引当金

役員退職に際し支給する退職金に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

(イ) 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

(ロ) 数理計算上の差異、過去勤務費用の費用処理方法

(連結貸借対照表関係)

1 非連結子会社及び関連会社に対するものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
投資その他の資産「その他」(出資金)	9百万円	9百万円

E01240)

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

--	--

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

(金融商品関係)

(有価証券関係)

1. その他有価証券

前連結会計年度(平成27年3月31日)

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(税効果会計関係)

(資産除去債務関係)

資産除去債務の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サササ箭

当連結会計年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

--	--	--	--	--	--	--

(イ) 連結財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等及び連結財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

前連結会計年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(2) 連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引

(ア) 連結財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等及び連結財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

E01240)

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

当事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

--	--

【注記事項】

(重要な会計計訊 ㄗ

(貸借対照表関係)

1 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務(区分掲記されたものは除く)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
短期金銭債権	4,164百万円	3,796百万円
短期金銭債務	1,399	1,240

2 保証債務

下記会社につき、コベルコフィナンシャルセンター(株)からの借入金に対し、経営指導念書の差し入れを行っております。

(損益計算書関係)

1 関係会社との取引高

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
営業取引による取引高		
売上高	13,965百万円	12,677百万円

(有価証券関係)

第7【提出会社の参考情報】

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

